



# 各部のなまえと取付けかた

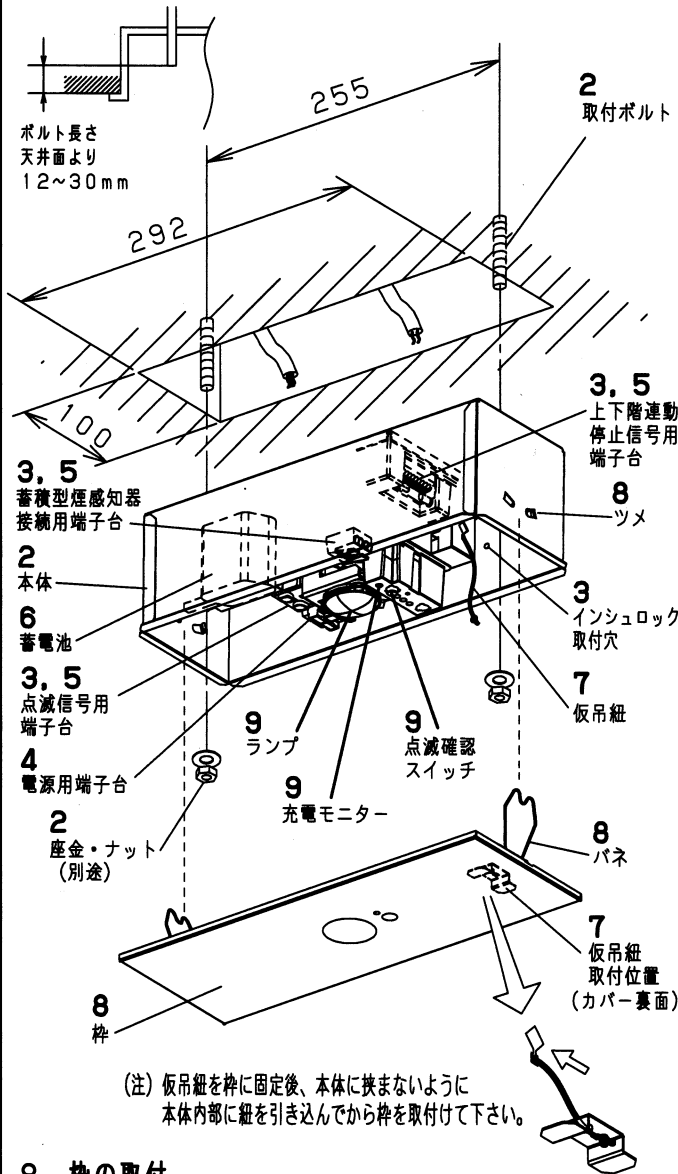
## 警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。  
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

電源穴、信号線用穴及び取付穴を通じて外部から水気・湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴、信号線用穴及び取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。

器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。  
けがのおそれがあります。

※この図は一部省略抽象化した共通部品図です。



### 8. 枠の取付

- ・パネを本体ツメ間の中央に合せる。
- ・パネの真下付近から枠を真直ぐに押さえ上方向に本体へはめ込む。
- (注) 仮吊紐を本体に挟まないように本体内部に収納してから枠を取付けて下さい。パネが本体爪からずれていたり、斜めから枠を押えるとパネが変形する恐れがあります。取付に不備があると枠落下の原因となります。

### 9. 点灯確認・点滅確認

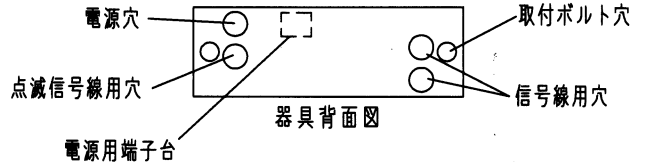
- ・電源通電状態で充電モニターの状態を確認する。
- 正常状態** 充電モニター (緑) は点灯
- ・点滅確認スイッチを押し、点滅を確認する。
- (点検中、充電モニター (緑) は消灯)
- 電池は設置後通電し充電しないと点滅しません。
- 正常に動作しない場合は **故障かな? と思ったときは** を参照してください。

### 1. 取付前の確認

- ・器具質量：1.5kgに十分に耐えるよう取付部の強度を確保する。
- ・蓄電池に貼り付けている青いテープをはがしてから施工してください。不備があると器具落下の原因となります。

### 2. 本体の取付

- ・電源線を電源穴、信号線を信号線用穴から引き込んでおく。
- ・座金、ナット (別途) にて本体を確実に取付ける。  
(取付ボルト推奨トルク値：0.8N・m)



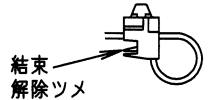
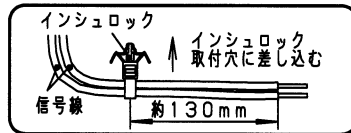
取付に不備があると落下の原因となります。

### 3. 信号線の接続

(注) 詳細な結線は表紙 **システム構成** を参照ください。

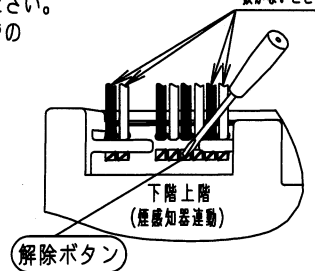
- ・上階・下階の信号線を先端から約130mmの位置で同梱のインシュロックにて結束しインシュロック取付穴に取り付けて、張力止めを行ってください。

(注) インシュロックは引き抜かないで下さい。再使用する場合は結束を外して行ってください。



- ・点滅信号用端子台は信号線を差し込んだのちにネジを確実に締めてください。
- ・煙感知器と連動させ停止させる上階、下階の信号線接続は、適合信号線を確認の上、端子台に確実に差し込んでください。信号線を抜く場合は、必ず解除ボタンを押しながら行ってください。
- (注) 上階・下階以外の信号線は抜かないでください。

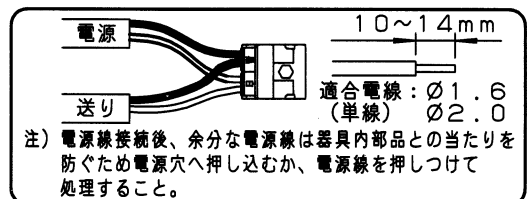
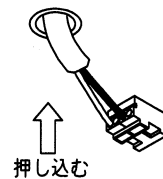
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



- 蓄積型煙感知器、上階・下階の信号線および、点滅信号 (DC24V) の場合 適合信号線 (CPEV等)  $\phi 0.9 \sim \phi 1.2$
- 点滅信号 (AC100V) の場合 適合信号線 (単線)  $\phi 1.6 \sim \phi 2.0$

### 4. 電源線の接続

- ・電源線を確実に接続する。 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。
- ・端子台の容量は20Aです。

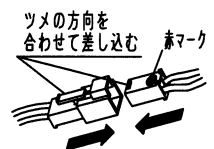


### 5. 電源、信号を通電させる。

(注) 通電なしで蓄電池を接続した場合、ランプが点滅します。

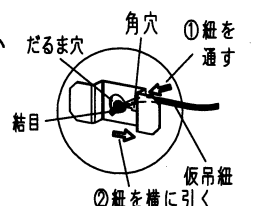
### 6. 蓄電池の接続

- ・コネクタを確実に接続する。
- (注) 方向を間違えると蓄電池が故障します。接続が不完全な場合、火災・点滅動作不良の原因となります。電源、信号の通電がない状態で接続した場合、ランプが点滅します。



### 7. 仮吊紐の取付

- ・仮吊紐を仮吊取付位置のだるま穴に通した後、横方向に引き結目を角穴に引っ掛ける。
- 取付に不備があるとカバー落下の原因となります。



・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

## 警告

- 器具を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

## 注意

- 内蔵部品ケースは絶対に外さないでください。感電の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
- 点滅装置には、寿命があります(※1) 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号: CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1 点滅装置は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4~6年です。

## お手入れ・部品交換

## 注意

蓄電池の交換時は、器具に取付けられている同じ品番のパナソニック製蓄電池にお取り替えください。故障の原因となります。

・器具の清掃について

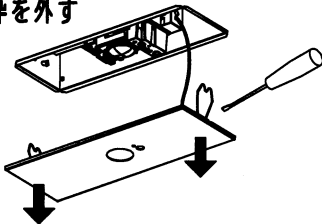
水または中性洗剤を用いて汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。

## 蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても20分間非常点滅しない場合は、蓄電池を交換してください。

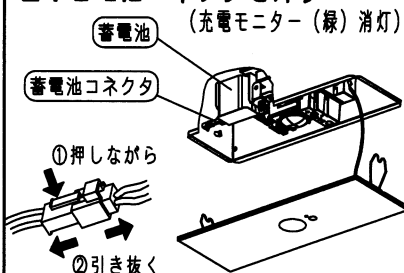
交換部品：蓄電池 FK765 (7.2V 1300mAh)

## 1. 枠を外す



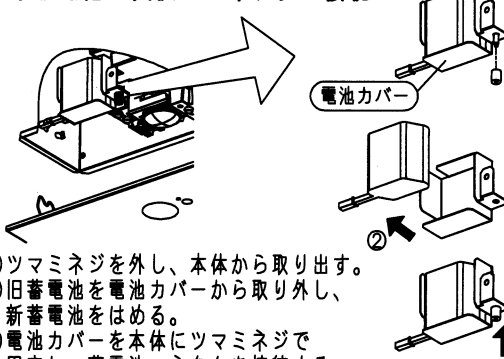
枠の両端を引っ張る。  
外れにくい場合は、マイナスドライバーを差し込み外してください。  
注) 仮吊紐が外れないように注意してください。

## 2. 蓄電池コネクタを外す



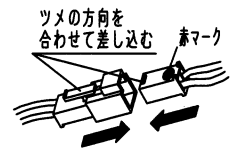
① 押しながら  
② 引き抜く

## 3. 蓄電池の交換・コネクタの接続



- ① ツマミネジを外し、本体から取り出す。
- ② 旧蓄電池を電池カバーから取り出し、新蓄電池をはめる。
- ③ 電池カバーを本体にツマミネジで固定し、蓄電池コネクタを接続する。(充電モニター (緑) 点灯)

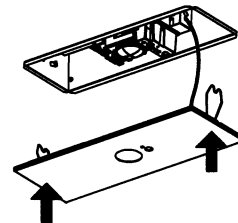
・蓄電池コネクタを確実に接続する。方向を間違えると蓄電池が故障します。接続が不完全な場合、火災・点滅動作不良の原因となります。



## 4. カバーの取付

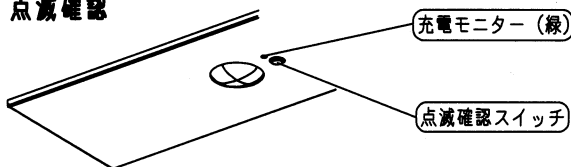
枠を本体にはめ込み、確実に取付ける。

(詳しい取付方法は、各部のなまえと取付けかた)  
(8. カバーの取付)を参照ください。  
取付に不備があると枠落下の原因となります。



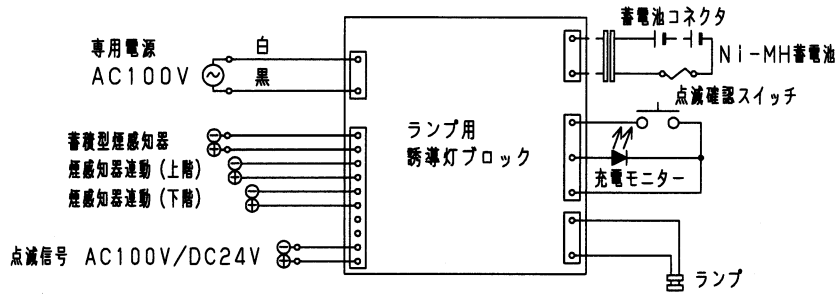
(注) コネクタや電線、仮吊紐をはさまないように取り付けてください。

## 5. 点滅確認



電源通電状態で点滅確認スイッチを押し、ランプの点滅を確認する。  
(点検中、充電モニター (緑) は消灯)  
正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」を参照してください。

## 器具定格・接続図



### 定格

品番	FF90035
定格電圧	AC100V
入力電流	0.030A
入力電力	1.5W

## 保証について

- ・保証について この商品の保証期間は1年間です。蓄電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## 点検実施のお願い

電池内蔵型器具は性能維持のため、6ヶ月に1回は非常点灯への切り替え、非常点灯時間の確認を必ず行ってください。（常に適正な状態に維持するために、法令※で定められた定期の点検に加え、上記点検の実施をお願いします。非常点灯が極端に短くなるおそれがあります。）  
 ※誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められています。

◆設置年月日 年 月 日

◆取付場所

◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

## 故障かな?と思ったときは

・表にしたがって調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点滅確認スイッチが押された状態になっている。	点滅確認スイッチの引っ掛かりを直す。
	点滅信号が印加されていない。	点滅信号を印加する。
点滅動作がとまらない	誘導灯用信号装置の操作方法の間違い。	誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する。
	配線が間違っている、緩んでいる。	誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の配線を正常化する。
	信号線の電圧降下が大きすぎる。	電圧降下10%までに抑える。
	制御する器具の台数が多すぎる。	システムの再構築。(カタログ等参照)
	点滅確認スイッチが押された状態になっている。	点滅確認スイッチの引っ掛かりを直す。
点滅動作しない 短時間しか動作しない ●一般型:点滅20分未満	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	蓄電池の充電不足。(保管時の自然放電や施工時の放電など)	24時間以上充電する。
	蓄電池の寿命。	蓄電池を交換する。
	誘導灯用信号装置の操作方法の間違い。	誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する。
	配線が間違っている、緩んでいる。	誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の配線を正常化する。
定格時間の点滅動作の後すぐに停止する ●一般型:20分以上	蓄積型煙感知器により停止状態になっている。	蓄積型煙感知器の接点が開放状態になるようにする。
	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。正常な動作です。	



Ni-MH

この器具は、「ニッケル水素電池」を使用しております。ご使用済みの「ニッケル水素電池」は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または「一般社団法人JBR C」に依頼してリサイクルしてください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048  
 お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>  
 0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月~土/9:00~18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。  
 0120-872-460 (FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open:9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)